

香川県美術展覧会で「奨励賞」受賞

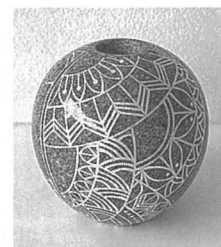
庵治石を活かした

『森で奏でる石』

香川県・庵治産地 (有) 石材商太元屋

『e Moyō』シリーズ
多彩な作品を制作・販売

香川県・庵治産地の(有)石材商太元屋(和泉憲社長)では同社取扱の庵治石極細目材「漆黒」を活かした小物商品『e Moyō(えもよう)』シリーズを開発・販売している。



アジイシモザイクタイルの一例

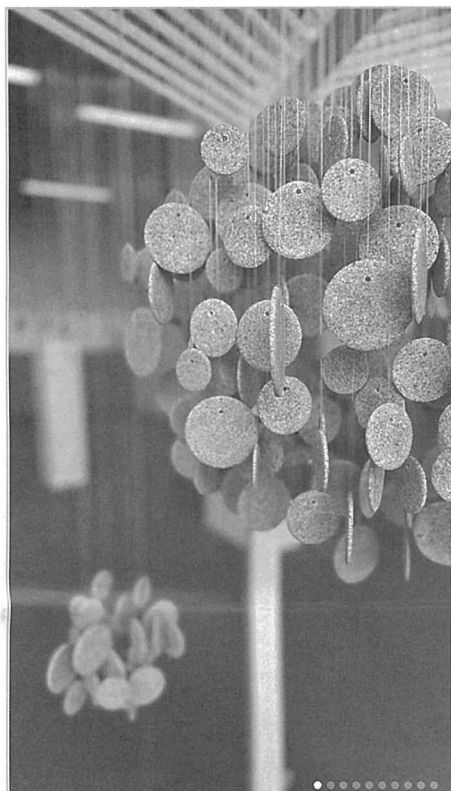
同シリーズの制作を担当しているのが和泉社長の奥さま・恵美さん。これまで多くの商品を作ってきた中で、このほど同シリーズ作品の『森で奏でる石』が「第88回香川県美術展覧会・立体部門」で奨励賞を受賞した。

恵美さんは5年ほど前から『e Moyō』の商品づくりを展開。独自の感性・細やかな意匠性を活かした作品の数々は、各地の石材業者からも高く評価されており、堅調に販売実績を重ねてきている。一つひとつ「手描き+手彫り」している花器や、

森で奏でる石

白い森には昨夜の雨の水溜りが出来ています
水溜りに映る空と地から離れた石
森には時折風が流れます
石は風に答えるようにゆらゆらと揺れ
からんころんからんころんと
癒し音を奏でます

第88回香川県美術展覧会
立体部門・入賞作品



に込める想いを次のように話す。

「重たい石をどうにかして浮かせられないだろうか、という想いが制作のきっかけになりました。ただし、そこからが大変で、大きな石を太いロープでグルグル巻きにしたら吊れるかな?とか、いろいろ考えましたが、結果的に小さい石をたくさん吊ることで、見た目は大きく、それでいて軽く見えるようにしました。

テグス(糸)の先に付いている石は、丸く抜いた円柱に穴をあけてスライスし、1枚1枚、砥石でバリ取りしています。合計410枚を1枚1枚、テグスを通して吊るしていますが、小さな石片も



授与された賞状を持つ和泉恵美さん

410枚になると大きな集合体になります。

風を受けるとカラランカランと音を奏でてくれるのですが、庵治石って、こんなに可愛い音がするんだ、という発見もありました。

『森で奏でる石』は今年6月に開催された「あ

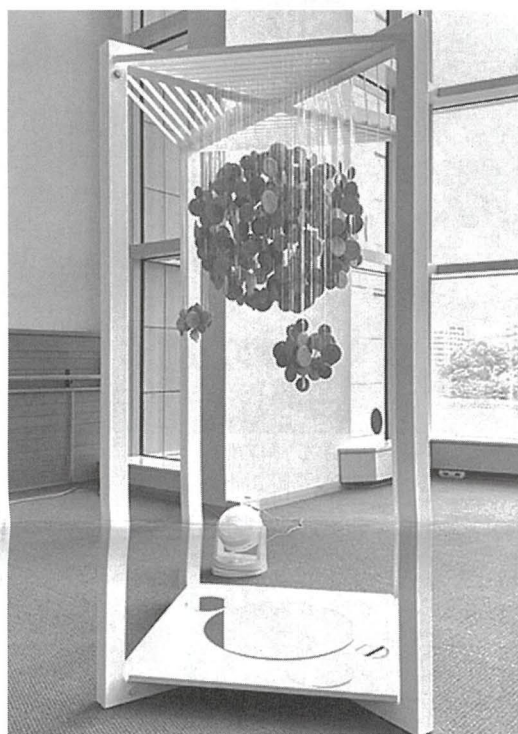
受賞作品『森で奏でる石』
「販売・レンタルもします!」

(有)石材商太元屋では現在、『森で奏でる石』を販売しているほか、希望される石材業者に対して作品をレンタルする取り組みを進めている。

レンタル希望者には風を送り出すタイマー付きのサーキュレーターも貸し出してくれるとのこと。

◆(有)石材商太元屋

香川県高松市牟礼町牟礼
37200-360
TEL 087-845-1114



庵治石を活かした『森で奏でる石』。サーキュレーターを使って風を送り出すことで庵治石の音色を楽しめるようになっている。

小口~大口案件まで!

庵治石の建築材料
あります!

・建築材料加工・販売・施工(見積り無料)

庵治石専門店
(有) 石材商 太元屋
DAIGENYA

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3720-360
TEL:087-845-1114 FAX:087-845-8282
E-mail: s-daigenya1114@me.pikara.ne.jp
HP: http://www.daigenya.jp

